

News Letter

平成 27 年 12 月 18 日発行 vol.5

障がい者の笑顔と
障がい福祉に関わる仲間たち

日田市 坂本武士(たけし)さん

■日田市大肥本町で電器店を営む坂本家の長男、武士さんは、生まれた助産院から救急搬送され、立つことや話すことのないまま、27歳を迎えました。

■母親の照美さんにとって最初の大きな奮起は彼が6歳の時。翌年入学する幼児対象の旗取り競争に参加させるため、自宅から運動会の会場まで、武士さんを乗せた車いすを一人で押して出かけました。「母が強くなるといけんと気が張っていたから」と当時を振り返ります。それからは、義父と義母、そして、幼い頃からずっと武兄ちゃんと呼び、今は結婚や就職で家を離れた次男、三男の温かい協力を得て、夫と共に自宅で武士さんの生活を支えています。

■女性の歌声などを聞くと穏やかな表情になるという武士さん。今ではすっかり強くなり(?)、短期入所に5日間お任せして旅行したこともあるという照美さんは、「武兄ちゃんが居たから家族みんなで仲良くやってこられた」とにこやかに見守ります。



障害者支援施設 白萩園 支援員 清原亜紀さん

■今秋、大分市のアートプラザで開催し、来年1月18日(月)～22日(金)に日出町二の丸館、同月25日(月)～29日(金)に杵築市山香庁舎で開催予定の第11回みのり村作品展を初回から担当している清原さんは、

社会福祉法人みのり村に勤務して17年になります。白萩園の絵画クラブを指導している伊藤裕美子さんの「たくさんの方に作品を見てもらいたいよね」という言葉から始まった作品展は、陶芸クラブ指導者の三浦英代さんの指導も得て、今年は法人の各施設利用者、約300人による966点を展示しました。

■毎年、春には実行委員会を立ち上げ、テーマを決め、展示を工夫しています。「普段ほとんど笑わない方が、自分の作品を前にしてうれしそうな表情を見せると、続けてきてよかったと思います」と清原さん。

■支援員の仕事を続けていけるか悩んだこともあったという清原さんですが、理解ある上司や頼りになる後輩に囲まれ、「毎日、利用者と職員の笑顔が見られれば満足です」と穏やかにほほえんでいました。

(写真は白萩園の入所者とスタッフ。右端が清原さん)

発行元: 大分県障害福祉課 〒870-8501 大分市大手町3-1-1 a12500@pref.oita.lg.jp FAX:097-506-1740

TEL: 計画・スポーツ班 097-506-2723 地域生活支援班 097-506-2725 自立支援班 097-506-2731

障害児支援班 097-506-2745 精神保健福祉班 097-506-2733 障がい者体育協会 097-533-6006

大分県障害福祉課からのお知らせ

障がい者の笑顔と障がい福祉に関わる仲間を紹介する News Letter を発行しています。

県内で生き生きと暮らす障がい当事者や、活躍している支援者・サービス事業所を、障がい種別や居住市町村を越えて紹介し、各種情報を周知することにより、障がい福祉の見える化を図ることを目的としています。当分の間、毎月作成して、県障害福祉課で登録している各事業所のメールアドレス宛てに送信し、県庁ホームページにも掲載します。

■紹介する障がい者・支援者や事業所を募集します■

①今後紹介する障がい者、②今後紹介する支援者又は事業所を募集しています。

メール、FAX 等で大分県障害福祉課へお寄せください。News Letter へのご意見もお待ちしています。

■知的障がい者・精神障がい者を県庁で雇用するための研修を行いました ー計画・スポーツ班ー

大分障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 鷹居勝美氏を講師に招き、障がい者の特性と接し方のポイントについて、県職員を対象とした研修を行いました。知的障がいがある人には具体的に指示することや、発達障がいのある人には職場環境を構造化してわかりやすくすること、聴覚障がいのある人には視線を合わせてから話し始めることなどの基本的なお話しが聞けました。現在、**県庁(地方機関を含む)では、9人の知的・精神障がい者が実習をしており、19人が非常勤職員として働いています。**

■“Action！”障害者の芸術活動を支援する特別展を開催します ー地域生活支援班ー

1月15日(金)から17日(日)までの3日間、大分県立美術館1階展示室で、障がい者アートに関わる国内外の個人・団体が語った「言葉」とその活動を紹介します。無料イベントとして、①16日(土)14:00-15:00 ワークショップ小麦粉ねんどでオリジナルの怪獣をつくろう！
②16日(土)17:00-19:00 障がい者アートについて考えるフォーラム ③17日(日)13:00-15:00ドキュメンタリー映画上映もあり、①②は予約優先です。詳しくは県庁障害福祉課ホームページをご覧ください。

■知的障がい者雇用、精神障がい者雇用の伸び率が全国1位でした ー自立支援班ー

11月27日に大分労働局が発表した本年6月1日現在の県内の障がい者雇用者数は、昨年より304.5人増の3,049.5人で過去最高を更新し、**実雇用率は昨年より0.15ポイント増の2.43%で2年連続全国第2位**でした。また、課題であった知的障がい者の雇用者数は692人で対前年伸び率23.2%、精神障がい者雇用者数は202人で対前年伸び率46.9%と、**それぞれ全国1位の伸び率を記録**しました。

■第35回大分国際車いすマラソン大会の結果 ー大分県障がい者体育協会ー

11月8日(日)に大分県庁前をスタート、大分市営陸上競技場をフィニッシュとするコースで、第35回大分国際車いすマラソン大会を開催しました。当日は好天に恵まれ、15か国から232人の選手が出走し、202人が完走しました。マラソンの部の各クラスの優勝者は次のとおりです。【男子 T34/53/54】マルセル・フグ(スイス)1° 24' 53" 【男子 T33/52】サンティアゴ・サンツ(スペイン)1° 48' 01" 【男子 T51】ピーター・ドゥ・プリーズ(南アフリカ)2° 39' 52" 【女子 T34/53/54】マニュエラ・シャー(スイス)1° 40' 46"。次の**第36回大会は平成28年10月30日(日)に開催**します。

発行元:大分県障害福祉課 〒870-8501 大分市大手町3-1-1 a12500@pref.oita.lg.jp FAX:097-506-1740
TEL:計画・スポーツ班 097-506-2723 地域生活支援班 097-506-2725 自立支援班 097-506-2731
障害児支援班 097-506-2745 精神保健福祉班 097-506-2733 障がい者体育協会 097-533-6006